

電通と博報堂が共同で立ち上げた、産学連携プロジェクト  
**MIRAI DESIGN LAB.**  
**第2回「MIRAI DESIGN AWARD」実施のお知らせ**  
“2030年の学び”をテーマにしたアイデアを3月29日から募集開始

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：石井 直）と株式会社博報堂（本社：東京都港区、社長：戸田 裕一）の産学連携プロジェクト「MIRAI DESIGN LAB.」は、全国の専門学校生、高等専門学校生、大学生・大学院生を対象に“2030年の学び”についてのアイデアを募る第2回「MIRAI DESIGN AWARD」を開催いたします。

「MIRAI DESIGN LAB.」は、全国の大学生・大学院生と共に未来の社会を構想し、コミュニケーションの力と可能性で未来を創ることを目的に2010年に設立した電通と博報堂の共同プロジェクトです。このプロジェクトは、①未来の社会課題を解決するためのアイデアを具現化し、発信すること②学生の教育・研究をサポートすることで、未来を主体的にリードしていく、構想力を持った人材の育成と輩出を目指すこと③生活者、有識者、企業、教育機関など、あらゆるステークホルダー間のハブとなり触発を促すことで、従来個別に行われていた研究やアイデアを有機的につなぎ、その具現化のためのコーディネートをしていくことを理念に掲げて活動してまいりました。

このプロジェクトが実施する「MIRAI DESIGN AWARD」は、2011年に第1回を開催。「20年後の社会を見据えた、コミュニケーションのアイデア」を学生から募集し、入賞者とラボのメンバーで、1年間にわたりアイデアの実現に向けたワークショップや実験活動を行いました。第2回では、「2030年の学び」をテーマに、2013年3月29日からアイデアの募集を行います。募集したアイデアは厳正な審査の上、この夏に入賞者を決定。その後、入賞者とラボのメンバーとのワークショップを行い、秋にはそうした活動を通じてブラッシュアップされたアイデアを社会に提案していく予定です。

本プロジェクトに関する情報は、以下のウェブサイトで公開しています。

MIRAI DESIGN LAB.公式サイト (<http://www.miraidesign-lab.com/>)

■ 報道関係者からの問い合わせ先

電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報1部 林田 TEL 03-6216-8041  
博報堂 広報室 藤井 TEL 03-6441-6161

■ 一般の方からの問い合わせ先

MIRAI DESIGN LAB. 事務局 [info@miraidesign-lab.com](mailto:info@miraidesign-lab.com)

■ 「MIRAI DESIGN LAB.」 2013年の基本趣意

Q. 2030年の学びをデザインせよ。

「2030年って、どんな世の中だろう？」  
想いをめぐらせたとき、未来が始まる。

成長した自分。  
新しいテクノロジー。  
見たことのないライフスタイル。

今はまだない何かを想像したとき。  
そのすべてが、未来への一歩になる。

テーマは、「学び」のデザイン。

2030年の日本が、イノベーターの活躍にあふれる国であるために。  
想像をふくらませ、理想の学びのあり方をデザインしてほしい。  
カリキュラム、ツール、仕組み、サービス。アイデアは、自由。

学びとは、目指す未来に備えることである。  
さあ、未来を創ろう。キミも、学びながら。

MIRAI DESIGN LAB.  
DENTSU+HAKUHODO

主催 : 株式会社電通、株式会社博報堂  
公式サイト : [www.miraidesign-lab.com](http://www.miraidesign-lab.com)  
発起人 : 池永 忠裕 (電通 プロモーション事業局 プロモーション・デザイン室長)  
永井 一史 (HAKUHODO DESIGN 代表取締役社長)



# MIRAI DESIGN LAB.

DENTSU + HAKUHODO

## 第2回 MIRAI DESIGN AWARD

第2回「MIRAI DESIGN AWARD」を開催いたします。

2030年の社会を想定したアイデアを大学生・大学院生から募り、MIRAI DESIGN LAB. (以下、MDL.) で選考。

入賞者は、ラボの研究メンバーとして活動していただきます。

活動の一環として、アイデアに知見や刺激を与える有識者とのワークショップや、アイデアを社会に生かす(具現化・事業化)ためのアクティビティーを計画しています。

### ◆「学び」とは

学びとは「目指す未来に備えること」であるならば、いつ、どこで、だれに、なにを、どうすればよいか。2030年の日本がイノベーターの活躍にあふれる国であるためのアイデアを考えてください。2030年の日本社会を想定した課題を設定していれば、既存の教育制度などにのっとる必要はありません。自由な発想でご応募ください。

### ◆スケジュール 2013年3月29日～4月30日：応募受付(個人応募) ※締切は4月30日の17時(仮)

2013年5月下旬：MIRAI DESIGN AWARDの入賞者を発表

2013年6月上旬：入賞者はアイデアをプレゼン後、チーム分け発表とオリエンテーション

2013年6月上旬～8月下旬：チームごとにワークショップを開催

2013年8月下旬：中間発表会を実施

2013年9月26日：最終発表会を実施

### ◆参加資格

専門学校、高等専門学校、大学、短期大学、大学院生の方で、2013年6月から9月に実施予定の活動にご参加いただける方。

※留学生であっても日本の大学や大学院に在籍している方であれば応募可能。ただし、応募申し込みやラボでの活動はすべて日本語で行い、国内で行われるワークショップなどの全プログラムに参加可能であることが前提となります。

※今回は個人単位での応募が前提となります。ご了承ください。

◆参加方法

MDL.の公式サイトから応募フォームにアクセスいただき、  
2030年の「学び」というテーマをふまえて、下記3つの設問にお答えください。

**1) 2030年、日本をイノベーターの活躍であふれる国にするために。**

**あなたは何が課題だと考えますか。(400字以内)**

**2) その課題を解決する、「学び」のアイデアをおしえてください。(800字以内)**

**3) あなたの考えたアイデアは、どのように実現したらいいでしょう。(400字以内)**こ

ちらにご記入いただき、「送信」ボタンをクリックしていただければ応募確定となります。

◆審査員(敬称略)

- ・HAKUHODO DESIGN 永井 一史 (MDL. 共同発起人)
- ・電通 池永 忠裕 (MDL. 共同発起人)

◆特別審査員(敬称略)

- ・野村総合研究所 顧問 / 東京大学公共政策大学院 客員教授 増田 寛也  
(総務大臣、内閣府特命担当大臣、岩手県知事など要職を歴任)
- ・ジャーナリスト/メディア・アクティビスト 津田 大介  
関西大学特任教授、早稲田大学大学院非常勤講師などの教職に加え、  
ラジオナビゲーターとしても活動。メディア、ジャーナリズム、IT・ネットサービス、  
コンテンツビジネス、著作権問題などを専門分野に執筆活動を行っている。

◆審査方法

審査員とMIRAI DESIGN AWARD事務局において、以下の審査基準をもとに合議のうえ入賞者を決定します。

審査基準: ビジョン、課題認識、アイデアの3点から、総合的に「未来を構想する力」を評価。

◆審査結果

2013年5月31日までに、MDL.の公式サイトにて入賞者を発表。

入賞された方々には、アイデアのプレゼンとオリエンテーションのご案内を別途差し上げます。